

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第3回坂戸市社会教育委員会議
開催日時	令和5年12月14日(木) 開会：午後2時00分 閉会：午後2時25分
開催場所	城西大学坂戸キャンパス23号館 201会議室
議長(委員長)	横田 政行
出席者	鈴木 茂、菅原 繁子、上見 雄一、市川 なお美、 横田 恒雄、田中 映子、鹿ノ戸 久美子、杉田 義昭、 加藤 拓、小川 孝、横田 政行 11名出席
欠席者	北原 文子、石橋 妙子、金丸 行男、久保田 美穂 4名欠席
事務局	太田教育長、浅野部長、仲島次長兼スポーツ推進課長、 清水中央公民館長、勝俣中央図書館長、菅野社会教育課長、 神社会教育課課長補佐、田畑社会教育課主任、 橋村社会教育課主事 9名出席
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会(事務局) 事務局  委員	1 開 会 本日1名の傍聴希望者がいる。入室を了承するか。  了承。  (傍聴者入室)  2 あいさつ

<p>委員長</p>	<p>本日、城西大学で会場をお借りして社会教育委員会議を開催する運びとなった。大学も大変なことが多いと思うが、これだけ若い人がいるというのは坂戸市にとってもありがたいことだと思っている。</p> <p>話は変わるが、前々回の時に私事だが卓球のマスターズの予選に出ると話をさせていただいたが、予選落ちであった。非常に残念な結果だったが、11月に北坂戸駅付近に卓球センターが開場した。冷暖房完備で非常に綺麗な場所であり、初心者教室なども行っている。</p> <p>今年は、コロナ等もあり中々大変な年ではあったが、間もなく正月を迎える。来年こそはマスターズに出場できるよう願いながら日々努力しているところである。皆さんも、ご家庭では健康で楽しい正月を迎えられれば幸いである。</p>
<p>教育長</p>	<p>年末のご多用の中、出席をいただき感謝申し上げます。幸い気候が例年になく暖かきで安堵している。コロナがだいぶ改善されてきたため色々な事が戻ってきている。城西大学では、今年度竣工式を迎えられた施設を後ほど見学させていただくが、この施設は地域の方が交流できるような、正に「社会教育ができる場」というコンセプトなので、そういった意味でもこの会議を進められればと思う。本日は、6件の報告事項があるのでよろしく願います。</p>
<p>事務局  (議長：委員長)  事務局 (社会教育課)</p>	<p>3 資料の確認</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 第5回坂戸市伝統芸能発表会の結果について (資料1に沿って説明)</p> <p>11月12日(日)午後2時から坂戸市入西地域交流センターにて第5回伝統芸能発表会を開催した。</p> <p>内容は、大宮住吉神楽保存会、入西くどき保存会、三若会、塚越囃子連がそれぞれ発表を行った。来場者は274名であり、前回の243名より増えている。</p> <p>(2) 令和5年度少年の主張大会の結果について (資料2に沿って説明)</p> <p>11月18日(土)入西地域交流センターにて少年の主張大会を開催した。</p> <p>1,883点の応募の中から選ばれた作文をもとに、14</p>

<p>事務局 (スポーツ推進課)</p>	<p>名の方が、自分が日頃感じていることや考えていることをテーマに意見発表を行い、審査員のほか、ご家族や学校関係者らが発表を見守った。中学生の部から選出されていた1名が、体調不良のため急遽当日欠席となった。</p> <p>また、今年度の高校生・一般の部は、他の高校等からの応募がなかったため、筑波大学附属坂戸高校の2年生のみの審査となった。</p> <p>結果については、小学生の部では上谷小学校5年大神さん、中学生の部では城山中学校3年原田さん、高校生・一般の部では筑波大附属坂戸高等学校2年吉田さんが最優秀賞に選ばれた。そのほかの審査結果は記載のとおり。</p> <p>(3) 第22回坂戸市民チャリティマラソンの大会結果について(資料3に沿って説明)</p> <p>11月19(日)に開催した。会場は、坂戸市民総合運動公園と周辺道路にて実施した。申込件数は1,113件、申込者数は1,470名である。この違いについては、駅伝大会や親子の部にて2人1組という形で件数を数えているため差異が出ている。申込者数は、前回は1,551名だったので若干減少したように思われるが、例年、筑波大学附属坂戸高等学校がマラソン大会として参加していたが、今年度から不参加となったため500名ほど減少した。心配していたが、ランナーの方は少しずつ戻ってきていると感じる。完走件数は記載のとおり。気象状況は晴天で、朝方は寒かったが走る時間帯は少し暑いくらいになり、ランナーの方としては気持ちよく走れたのではないかと思う。事故はなし。応急処置はすり傷2件、足のつり1件、捻挫1件、走り終わり救護所で手当てしたランナーの1人が熱中症と脱水の症状が見られたがその後、帰宅された。</p> <p>当日のチャリティ額は8,572円。大会新記録は3件出ている。最高齢者完走賞は男性90歳、女性84歳である。</p>
<p>事務局 (中央公民館長)</p>	<p>(4) 令和5年度公民館・地域交流センター文化祭の結果について(資料番号4に沿って説明)</p> <p>10月22日(日)及び29日(日)の2週にわたり開催された各会場の文化祭は両日とも天候に恵まれ、多くの来場者でにぎわった。模擬店やバザー等が復活し盛況であった。各会場とも事故や怪我の報告はなかった。</p>

<p>事務局 (中央図書館長)</p> <p>議長</p>	<p>全体参加団体数は作品展示が52団体、舞台発表69団体、模擬店等が60団体、体験コーナー9件合計190団体に参加いただいた。これ以外に、当日の準備や片付けに協力いただいた団体がある。</p> <p>全体来場者数は5,747人。昨年度は模擬店等もなく、時間短縮等の一部制限があったため、一概に比較はできないが参考値として比較すると3,100人の増加となった。</p> <p>(5) 令和6年坂戸市二十歳のつどいの開催について (資料番号5に沿って説明)</p> <p>令和6年1月7日(日)中学校区ごと7会場で開催する。参加対象者は坂戸市に住民登録している者及び転出者で坂戸市の二十歳のつどいに参加を希望する者。本市に住民登録のある対象者数は1,233人。</p> <p>二十歳のつどいの内容は2部制となっており、第1部は市教育委員会が主催する式典があり、第2部は会場ごとに実行委員会が主体となり開催内容を検討している。今年度は通常開催で準備を進めているため、第2部では恩師との語らいやビデオレターの上映などが行われる予定である。</p> <p>来賓者は、勤め先あるいは関連ある役職等で中学校区域ごとに式場を割り振っている。市議会議員をはじめ社会教育委員、公民館運営審議会委員、地区区長会長、小中学校長等で通常開催としてご案内している。なお、来賓の方は紹介のみとさせていただく。</p> <p>二十歳のつどい対象者数の合計1,233人は、昨年度比167人の増である。卒業者数は942人で、昨年度比70人増となる。</p> <p>(6) 第10回坂戸市図書館を使った調べる学習コンクール結果報告(資料番号6に沿って説明)</p> <p>応募対象学年は、小学3年生から6年生の個人またはグループとして応募を募った。今年度は54作品が募り、結果については小学校5年生が最優秀賞となった。10月19日に審査会を実施し、全6作品を選考した。なお、最優秀賞作品については全国コンクールに推進し、年明けの1月頃に結果が発表される見通し。</p> <p>以上のことについて、質疑等はあるか</p>
-----------------------------------	---

委員	質疑等なし
議長	続いて、その他として委員の方から報告事項があればお願いしたい。
事務局	<p>11月26日(日)に青少年育成埼玉県民会議表彰が埼玉県で行われた。坂戸市から受賞されたのは、青少年育成功労賞(個人)では青少年育成推進員会議で長年代表を務められた宇津木敏子氏、青少年育成功労賞(団体)ではガールスカウト埼玉県連盟第70団が受賞された。ここで、ガールスカウト代表の田中委員より一言いただきたい。</p>
委員	<p>埼玉県の推薦で表彰を受けた。教育長をはじめ皆さんには大変お世話になり、皆様のご理解・ご協力のおかげで受賞できたのだと思い、感謝申し上げます。知事公館は初めてで、ドキドキしながら訪問した。ありがとうございました。</p>
議長	その他、委員の方から何かあればお願いしたい。
委員	意見なし
事務局	<p>6 その他  (1) 第4回坂戸市社会教育委員会会議の予定について  次回は令和6年2月9日金曜日、午後2時から坂戸市役所301・302会議室にて予定している。開催通知は別途送付するが、あらかじめ日程を承知おきいただきたい。</p>
副委員長	<p>7 閉会  今年は暖冬ということで、今日も暖かいが1月2月は寒いと思うので、皆さんにはお身体をご自愛していただくとともにご活躍をお祈りする。  では、第3回坂戸市社会教育委員会を終了する。</p>